



LEICA M11
LEICA M11 MONOCHROM
LEICA M11-P
LEICA M11-D
LEICA M EVI

FIRMWARE-UPDATE 2.6.1

NEW

- レンズプロファイル: Noctilux-M 35 f/1.2 ASPH.

SDカードの使用に関する重要なお知らせ

現在UHS-Iカードを使用時、稀に技術的エラーが起こることがあります。これらのエラーを防ぐため、またカメラを最適な状態で使うためにUHS-IIカードの使用をお勧めします。

ファームウェア アップデート

ライカは、製品の機能の向上や不具合の改善に継続的に取り組んでいます。デジタルカメラでは多くの機能がファームウェアで制御されており、お買い上げの後でも機能を追加したり不具合を改善したりすることが可能です。本製品をユーザー登録された方には、最新ファームウェアのリリース情報を随時お届けいたします。

最新のファームウェアをダウンロードして、本製品をアップデートしてください。また、アプリ「Leica FOTOS」のユーザーは、ファームウェアのアップデート情報をアプリ内で自動的に受け取ることができます。

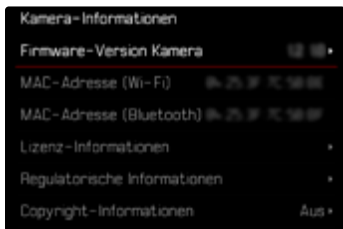
ファームウェアのアップデートは以下の方法で行うことができます。

- 楽にアプリ「Leica FOTOS」から
- カメラメニューから

現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには

→ メインメニューでカメラ情報を選択する。

- メニュー項目カメラ ファームウェアVerの隣に、バージョンが表示されます。



ファームウェアのアップデート情報、アップデートに伴う改善内容や追加機能、およびカスタマー登録について詳しくは、以下のサイトからご覧いただけます。

club.leica-camera.com

ファームウェアをアップデートする

ファームウェア アップデートを中断すると、カメラに重大かつ修復不可能な損傷を与える可能性があります。

ファームウェアのアップデート中には以下の事項を順守してください。

- カメラの電源を切らない。
- メモリーカードを取り出さない。
- バッテリーを取り出さない。
- レンズを取り外さない。

メモ

- バッテリー残量が十分でない場合は、警告メッセージがモニターに表示されます。バッテリーを充電してからファームウェアをアップデートしてください。
- **カメラ情報**のサブメニューにて国別に承認登録マークや番号を確認することができます。

使用前の準備

- バッテリーを満充電し、カメラに入れる。
- メモリーカードに他のファームウェアが保存されている場合は、必要のないものを消去する。
 - メモリカードに保存されているすべての画像をバックアップしてから、カメラでフォーマットすることをお勧めします。
(注意: データ消失! フォーマットするとすべてのデータが削除されます。元に戻すことはできませんのでお気をつけください。)
 - 内蔵メモリーのデータも事前にバックアップしてください。
- 最新のファームウェアをダウンロードする。
- メモリーカードに保存する。
 - ファームウェアファイルは必ずメモリーカード最上位階層に保存してください。下位階層では読み込みができません。
- メモリーカードをカメラに挿入する。
- カメラの電源を入れる。

カメラのファームウェアをアップデートする

M11 / M11-P / M11 Monochrom / M EV1

- 準備する。
- メインメニューでカメラ情報を選択する。
- カメラ ファームウェアVer.を選択する。
- ファームウェア アップデートを選択する。
 - アップデートに関する情報とメッセージが表示されます。
- バージョン情報を確認する。
- はいを選択する。
 - 「プロフィール情報をSDカードに記録しますか?」という、確認メッセージが表示されます。
- はいまたはいいえを選択する。
 - アップデートが自動的に開始します。
 - 処理中は、LEDランプ（下）が点滅します。
 - 正常に完了すると、終了のメッセージが表示され自動的にカメラが再起動します。

メモ

- アップデート後にカメラを初期設定に戻すことをお勧めします。
- 初期設定に戻した後は、日付、時刻、言語を再設定する必要があります。確認メッセージが表示されます。

カメラのファームウェアをアップデートする

M11-D

- 準備する。
- ファンクションボタンを押したまま、カメラの電源を入れる。
 - アップデート中はがLEDランプとセルフタイマーランプは赤色に点灯し、ファインダーにはUPが表示されます。